

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	個別的な排泄自立に向けた取り組みが出来ていない。	排泄パターンの把握でなく、オムツをとる支援として個々の自立目標設定・具体的支援策を職員一同で協力し実践をしていく。	利用者1人ひとりの排泄困難な要因を把握し、段階的に自立目標を設定し個々のケア計画・実践により、気持ちよく排泄でき、生きる意欲や自信回復につなげたい。	6カ月
2	10	あまり意見・要望が出ないのが現状である。	ご利用者様・ご家族様がいつでも本音でお話出来るホームを目指したい。	ご利用者・ご家族様が安心して、楽しく暮らしているか等のアンケート調査をしたり、普段の会話の中から意見・要望が出やすい工夫や雰囲気づくりを行い、苦情等を前向きに受け止めたい。	6カ月
3	2	利用者が地域の一員として近隣の人と日常的に交流が出来ていない。	外出(お買物)・散歩等の回数を増やし、近隣の方とのお話から始めたい。	近隣のスーパーでのお買物又、行事としての夏祭り・運動会等に地域の方をお呼びし一緒に楽しみを共有する。	12カ月
4					カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。